

## 軟弱地盤上の構造物の沈下を防止する地盤改良工法

### — D J M工法 —



既設の排水機場の機能低下などに起因する周辺地域の湛水被害を解消するために排水機場の新設が計画されました。建設箇所は深度約20mまで非常に軟弱な粘土層が分布しているため、構造物構築後における不同沈下の防止を目的としたD J M工法が採用されました。

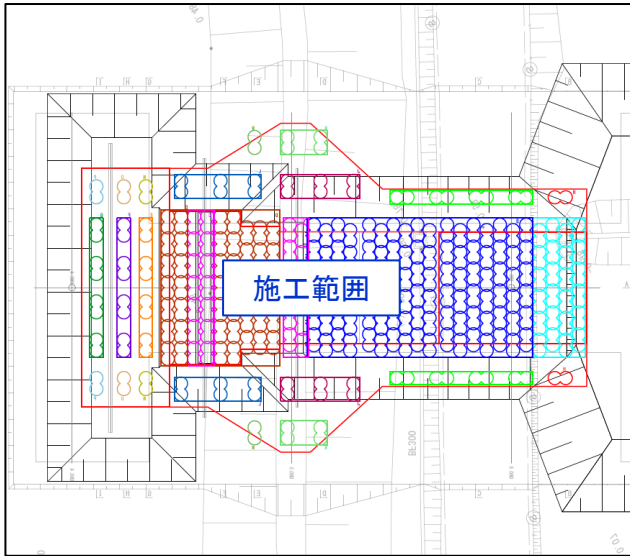
当該現場は地表部も極めて軟弱な地盤であったため、W I L L工法により深度2～5mの改良を施すことによって地盤支持力の改善を図り、D J M工法の重機作業等が安全かつ効率よく施工できました。

施 工 数 量	
造 成 径	φ 1,200
設 計 強 度	550 kN/m <sup>3</sup>
固 化 材 混 合 量	170 kg/m <sup>3</sup>
改 良 土 量	11,302.1 m <sup>3</sup>
本 数	244 本(組)
貫 入 長	平均 25.45 m/本
改 良 長	平均 21.35 m/本

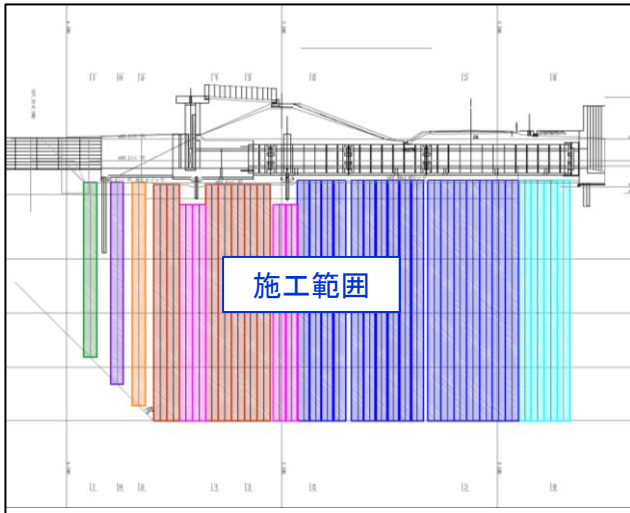




平面図



断面図



DJM施工機



プラント一式

